

競技注意事項

1 競技規則について

2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項による。

2 招集について

- ①ゲート3（1500mスタート地点後方）に招集所を設置する。競技者は招集開始時刻に集合し、できる限り三密状態を避けること。
- ②投てき競技は投てき場にて現地招集とする。
- ③招集開始及び完了時刻は競技日程に記載する。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ⑤招集完了5分前までに招集所で待機し（投てき競技の招集は投てき場）、最終点呼を受けること。その際アスリートビブス、競技用靴等の点検を受けること。
- ⑥同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、招集所の競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を得ること。

3 アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは胸と背に1枚ずつ確実につけること。
女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように4ヶ所で確実に留めること。
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- ②トラック種目では、腰ナンバーを右腰後方につけること。
腰ナンバーは招集所にて配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後は各自の責任において持ち帰り、処分すること。
- ③ランニングシャツの裾を確実にランニングパンツの中に入れ、腰ナンバーが見えるようにすること。

4 競技場で使用する競技用靴について

- ①スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。
いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。
スパイクピンの形状として、アンツーカー（土のグラウンド）用ピンの使用は禁止する。
- ②靴底の厚さは以下のとおりとする。
800m未満のトラック種目：20mm以内
800m以上のトラック種目：25mm以内
三段跳：25mm以内
三段跳以外のフィールド種目：20mm以内
- ③招集所・競技場所での靴底の厚さ確認は実施しないが、審判長判断で実施する場合もある。

5 棄権について

出場種目を棄権する場合、本競技会においては特に申し出なくとも良い。

6 練習について

- ①練習会場は第2陸上競技場を使用し、栃木陸協Webサイト等で提示する場所・時間帯の割り当てに従って安全に利用すること。【<https://www.jaافتochigi.jp/>】
- ②第2競技場の雨天走路はジョギングと体操のみ使用を許可する。一方通行で使用する。
- ③練習に際しては競技役員の手指示に従って安全に練習すること。

- ④投てき用具を投げる練習については、競技場所での競技前の練習試技のみとする。
- ⑤スタジアム1階および2階の外周での練習は不可とする。
総合運動公園内園路はジョギング程度なら可とする。(ただし集団での走行、リレーのバトンパスをしながらのジョギング等は禁止とする。)
選手・関係者及び公園の一般利用者の安全確保のため、ジョギング以外の練習は禁止する。
(メディシンボール投げやハードルを用いた練習等も禁止。)
- ⑥第2競技場の利用時間は17時30分頃までとする。これ以降の練習は、スタジアム内で行う。
- ⑦スタジアム内の雨天練習場は競技開始直前の競技者限定で、ジョギングのみ使用可とする。

7 競技者の入退場について

- ①スタジアム内競技場所への出入口は、ゲート3(1500mスタート地点付近)のみとする。
- ②スタジアム内競技場所への出入りは競技者のみ許可する。付添人・指導者等の入場は不可。
- ③競技者はゲート3の係員にアスリートビブスまたはJAAF登録会員証を提示し、入場の許可を得ること。
- ④トラック競技に出場する競技者は、競技開始前にスタート地点付近に荷物を置き、競技終了後は競技の妨げとならないよう、荷物を取りに行くこと。
- ⑤フィールド競技者も他の競技の妨げとならないよう、係員の指示に従って入退場すること。

8 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順、リレーについて

- ①トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示すので、審判員の指示に従うこと。
- ②リレー競走に出場するチームはリレーオーダー用紙を作成し、競技日程に指定された時刻までにT I Cに提出する。リレーオーダー用紙は栃木陸協Webサイトに事前掲載するほか、T I Cでも配布する。
- ③リレー競技に出場するチームは、原則として同一ユニフォームで参加しなければならない。ただし、上衣の袖有り・袖無しや、パンツ・タイツ等を統一しなくても良い。

9 跳躍競技(高さ・踏切板の距離)について

(※審判長の判断で、変更することもある。)

種 目		練習の高さ	競技中の高さ
走高跳	男子	1.70/1.85	1.75~1.80~1.85~1.90~1.95~2.00・・・
	女子	1.35/1.55	1.40~1.45~1.50~1.55~1.60~1.65・・・
棒高跳	男子	2.70/4.00	2.80~3.00~3.20~3.40~3.60~3.70~3.80・・・
	女子	1.70/2.50	1.80~2.00~2.10~2.20~2.30~2.40・・・

- ①上記以後の高さについては、跳躍審判長の指示による。
- ②雨天の際は協議の上、高さを変更することもある。
- ③三段跳における踏切板の距離については、男子11m・女子9mとする。

10 競技用器具について

- ①競技に使用する用器具は、検査を受け合格したものについてのみ使用できる。ポールの検査および、やりの検査については、招集後現地で行う。
- ②検査で合格したやりについては、主催者にて預かり、主催者のものとして使用する。

11 競技について

- ①トラック競技は全てタイムレースで実施し、複数ラウンドを設けない。
フィールド競技（走高跳・棒高跳以外）は3回の試技までの実施とする。
- ②トラック競技は、不正スタート1回で失格とする。
- ③長距離種目において競技運営上、著しく遅れた選手や体調不良で競技続行が不可能と判断される競技者に対し、審判長が競技を中止させる場合がある。
- ④長距離種目のグループスタートは実施しない。
- ⑤競技場設備の関係で、投てき競技はすべて投てき場で実施する。
- ⑥各競技の結果はWeb上の速報サイトに掲載する。また、T I Cに掲示する。

12 その他

- ①T I C (Technical Information Center) をスタジアム2FのゲートA内に設置する。
T I Cでは、参加団体受付、オーダー用紙の取扱い、競技に関する抗議の受付、プログラム訂正の受付、撮影許可手続き、遺失物保管などの業務を行う。）
- ②競技中の傷病などについては、主催者が応急手当をするが、以後の責任は負わない。
- ③各チームのスタジアム内待機場所については、栃木陸上競技協会が指定した場所とする。
第2競技場の2Fコンコースは各団体が譲り合って使用すること。コンコース内にテントを設営することは認めない。また、競技場外の公園敷地でのテント設営は一切禁止する。
なお、各チームベンチとして観客席・雨天練習場・更衣室等を占領してはならない。
- ④スタジアム内雨天走路の使用については、本競技会では使用不可とする。
- ⑤スタジアム内1Fのトイレは、100mスタート付近の正面スタンド内トイレを使用すること。
出入りについては100mスタート付近からの出入りに限定する。
- ⑥更衣室については、男女ともスタジアム2Fトイレ内の更衣スペース等を使用する。
また第2競技場の更衣室も使用可とする。ただし更衣室内に長時間滞在しないこと。
- ⑦第2競技場の会議室を整理運動後の休憩場所として開放する。ただし、長時間滞在しないこと。

13 災害時の避難場所

会場責任者の判断により避難の放送が入るので、避難誘導係の指示に従って落ち着いて行動すること。

14 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項

- ①新型コロナウイルス感染拡大状況により、参加申込み完了後に競技会を中止とする場合もある。日本政府または各都道府県による緊急事態宣言が発令した場合などは、県外在住の参加者に対して参加を断る場合もある。その際は栃木陸協 Web サイト等で通知する。
また、競技中に発雷等で天候が悪化した場合は、その時点で競技会を中止する場合もある。
- ②競技会直前に発熱等の症状が出た者は、参加を控えること。
- ③「大会前体調管理チェックシート」の提出は義務づけない。
- ④競技会開催中に体調の異変を感じた場合は、速やかに退場する。
- ⑤練習会場、待機場所、更衣室等において極力三密を回避し、手指等の消毒を随時行う。
マスクの着用は個人の判断によるが、発声を伴う応援の際はできる限りマスクを着用する。
- ⑥運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。ゴミは自己責任で持ち帰る。
- ⑦有観客での競技会開催とする。一般観客は、3・4階席での観覧とする。
- ⑧中高生が学校所属ではなくクラブ所属として参加する場合、クラブ責任者が競技者を引率し、保護者の観客席への立ち入りは禁止する。
- ⑨その他、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対応については、栃木陸協 Web サイト等で周知する。